

研究名：小児の下肢痛・跛行に対する股関節 Point-of-Care Ultrasound を用いた診療アルゴリズムについての記述研究/診断精度研究

1. 研究の目的

小児の下肢痛・跛行を主訴に受診した患者さんに対して、ベッドサイドでの股関節超音波検査を用いた診断アルゴリズムに沿って診療を行い、その有用性や安全性について検討することで、下肢痛・跛行患者さんに対する診療の向上を図ることを目的とします。

.....

2. 研究の方法

- ① 研究対象：下記の研究期間中に当センターの救急外来を受診した 18 歳以下の下肢痛・跛の患者さんを対象とします。
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027 年 3 月 31 日
- ③ 研究方法：上記の患者さんを対象として、ベッドサイドでの股関節超音波検査を用いた診療アルゴリズムに沿って診療を行い、電子診療録を用いて前方視的にデータを蓄積します。

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、主訴、発症日、基礎疾患、リスク因子（年齢：<3 歳, ≥11 歳、体温≥38℃、荷重が全くできない、発症から 7 日以上、蒼白 or 脾腫 or 全身性リンパ節腫脹あり、POCUS 以外の追加検査が必要と担当医が判断）、股関節 POCUS の施行者および所見、その他の検査（単純 X 線検査、血液検査、血液培養、関節穿刺、その他）、初診時診断、転帰、再診の方法、再診時のリスク因子の有無、再診時の股関節 POCUS の施行者および所見、再診時診断、再診時の転帰、関節機能予後に影響する合併症の有無 等

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守**されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2027年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 救急診療科 富田 慶一
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7977）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 救急診療科 富田 慶一